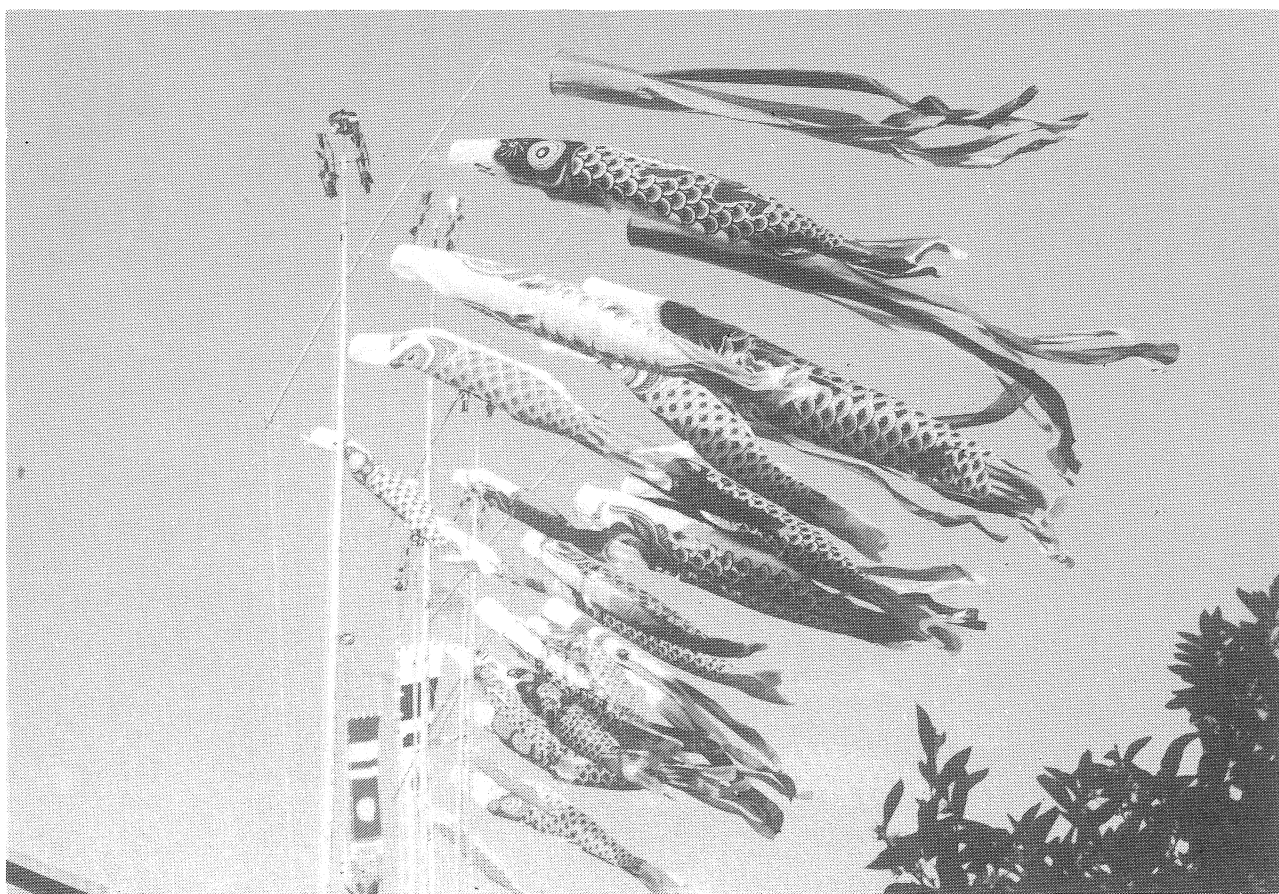


広報 ながはま 5月号



子供の成長を願ってスイスイ泳ぐこいのぼり

さわやかな風になびいて

今月号の主な内容

- 61年度施政方針……………2～3
- 予算の使いみち今年度の特徴……4～7
- 一般質問……………8～12
- 保育所職員26人を異動……………12
- 一歳ですコンニチハ(矢野佳織ちゃん)…13
- 一宮長房日記抄(最終回)……………14
- 佐々木計和さん・建設業発展に功績…15
- 社会福祉大会で吉岡さんら49人表彰…15

こいのぼり

子供の人格を重んじ、子供の幸福を図る趣旨で定められたのが五月五日の子供の日。

五月五日の節句には、男の子の数だけこいのぼりを揚げる。昔はこいが三匹も四匹も泳いでいる家が少なくありませんでした。子供さんの時代だったのです。

ところが今は、子供二人が標準家庭。こいも一匹かせいぜい二匹がいいところ。それでは寂しからうというわけで、最近では、赤、黒、青の三匹セットが流行しています。

鯉の滝のぼりから立身出世のシンボルとされています。日本では江戸中期から今日のようなこいのぼりを飾る風習ができたようです。青空ですいすい泳ぐこいのぼりのように子供たちも伸び伸びと成長して欲しいものです。

過疎地域を振興発展

第二次から第三次開発事業へ

昭和六十一年長浜町議会第一回定例会が、三月十九日から二十四日までの六日間の会期で開かれ、六十一年度の当初予算や町議会議員、特別職等の報酬、費用弁償条例や町四役の給与条例の一部改正、体育照明施設及び町立学校屋内運動場使用条例の制定など三十三件の議案はいずれも原案通り可決されました。

また、例月出納検査、寄付採納報告の三件は受理採択されました。議案審議を前に町長が昭和六十一年度の施政方針を表明。続いて七人が一般質問を行いました。町長の施政方針、可決されたこと、一般質問の模様のあらましをご紹介します。

六十一年度施政方針要旨

はじめに

昭和五十三年に私が町政を担当させて頂いて以来、将来の長浜町をより豊かで安定したものにするため、第二次開発事業の推進に努力してきたが、その間、町議会の

皆様をはじめ、町民各位の深いご理解とご協力により円滑に町政が運営されてきたことに感謝申し上げます。

今年は私にとって任期満了の年であり、新年度に取り組み私の所信の一端を披歴し、議員各位の力強いご指導とご協力をお願い申し上げます。

内外の情勢

我が国をめぐる内外の情勢は大きな変容を示しており、国内的には、経済の高度成長から安定成長への移行過程で、国債残高約百三十兆円にも及ぶ財政赤字の累積が生じるとともに、人口構成の高齢化、都市化、情報化社会への進行

が新たな問題を投げかけており、政府においては、国民的課題である行政、国鉄、教育、税制などの改革にとり組んでいる。国際社会は、多極化、不安定化の度を強め、資源、エネルギー制約の顕在化、貿易摩擦、原油価格の値下げ、円高と公定歩合の引き下げなど我が国をめぐる国際環境

は一段と厳しさを増している。アメリカの財政赤字と経常収支の赤字の拡大、欧州共同体諸国等の高失業の継続、発展途上国の累積債務問題が山積しており、国際的な政策協調の機運が高まりつつある。

本町にとって最大の行政課題であった第二次開発事業が関係者の皆さんのご理解とご協力、西田先生、国、県、関係機関の適切な指導、支援により昨年、埋立工事に着手することができた。

この第二次開発事業は、町の振

第二次開発事業の完成と第三次開発の推進



施政方針を述べる二宮町長

行政改革の推進

行政改革の推進にあたっては、新しい時代が要求する行政のあり方を明らかにしなければならぬ。本町においても、よりよい町づくりを進めるため、昨年十二月行政推進委員会から提言を頂き、それ

西瀬戸経済圏の一大流通基地として、新長浜港の港湾施設の整備、住宅地と工業地帯の分離、都市再開発、地場産業の振興、生活環境整備計画と切り離して考えることはできない。このことを重視して、二次開発事業を完成させ、役場庁舎を始めとする都市機能施設、公園緑地等を中心とした環境整備、町民憩いの場造りなどの第三次開発事業の推進に力を入れていきたいと考えている。

この第三次開発事業の基本理念は、臨海部における第一次、第二次開発事業に続く第三次開発事業を総合的に推進し、工業開発、港湾整備などの基本事項を定め、将来の本町発展の方向を示すものである。都市機能等の用地を現内港に求め、造成及び施設整備事業を積極的かつ効果的に推進し、本町発展の中心的エリアを確立することを目的に考えている。

この第三次開発事業は、二次開発以上の英知英断が必要であり、本事業の実現こそが二十一世紀の長浜町に明るい希望をもたらす方策であるとの決意で、全精力を傾注して進めていきたいので、ご理解、ご協力をお願いしたい。

昭和61年度施政方針

に基づいて長浜町行政改革大綱を策定、これにより積極的に推進していくことにしている。

行政改革を進めるためには、「変化への対応」「簡素、効率化」「信頼性の確保」を念頭におき、現行の行財政の惰性的運用を排除し、その立て直しを図り、住民の皆さんの需要に応える行政サービスが可能にしていきたいと考えている。

特に本年は、時代にマッチした新しい行政システムの開発に取り組む必要から電算機導入に関する調査研究費と一部機構改革を行う各課に企画担当を配置し、新しい町づくりのための制度事業を調査研究し、ぜい肉のないスリムな行政体制の確立と効率的事業の導入に努めていきたい。

海岸回り線対策

国鉄海岸回り線は、私達の足として生活を支え、産業、文化、経済の発展に大きく寄与してきたが、本年三月三日に内山線が開業し、海岸回り線は上下各十本の普通列車の運行のみとなった。また、来春には国鉄の分割、民営化が予定されているが、過疎に悩む沿線住民にとっては、社会、経済上の地域間格差を解消する唯一の公共輸送機関であり、長期開発計画をはじめとする我が町の将来を思うとき、本線の存続は絶対に図っていかねばならないと考えている。

現在、利用者へのアンケート調査を実施し集約中であるが、その対策として分割、民営化までに全

線のCTC化や快速列車の運行をして頂くことなどの陳情を強力に推進する一方、住民の皆さん方も維持存続を図るためには利用者の増大が緊急の課題であることを認識して頂き、一人一人がこの海岸回り線を守るため利用実績を高めて頂くようご協力をお願いしたい。

河辺川ダム建設

肱川の恩恵を受け、肱川とともに生きてきた本町にとっては、河辺川ダム建設の問題は重大かつ深刻な関心事である。このことについて国、県より公式に折衝説明がなされずスタートしたことは誠に遺憾である。洪水調節、大洲喜多地区へのかんがい用水については被害防止効果及び地域農業振興上措置されるべきことであり当然と考えるが、中予地区への分水については流量の絶対減をきたして行くので慎重に対応しなければならぬと考えている。

肱川河口に位置する本町は、他町村と比べ、自然条件並びに産業的に特殊な事業が多く存在しており、そのことから多くの共通する問題点をかかえる大洲市と歩調を合わせ、ダム建設対策案をたてて対応しなければならぬと考えており、その作業に入っている。その作業の結果を踏まえ、対国、対県運動を強力に開始していきたい。

生活環境の整備

住民の皆さんが安心して定住できるために自然環境を保全しつつ、

調和のとれた豊かな生活環境をつくるため、交通体系の整備をはじめ、上下水道、公園、街路などの整備を長期計画の中で、財政とのバランスをとりながら進めている。道路計画、都市計画などは第三次開発事業の中で対応していきたい。近年の都市計画圏域への安定志向と合わせて、高速交通時代の到来など自動車交通の増加傾向が顕著になるとともに生活環境の変化から様々な道路交通へのニーズが顕在化してきており、本年は特に町道路路網の再整備に、計画的かつ意欲的な姿勢で望んでいきたい。

昭和四十六年三月に建設したごみ焼却炉は、老朽化が著しく大規模な改造が必要となっており、昨年六月に長浜町廃棄物共同処理事業検討協議会をもつて、建設候補地については大洲市内に求め、一日六十トン処理の施設を建設する計画を進めている。

教育問題

我が国は、国民生活が豊かになった反面、都市化傾向が強まり、地域社会の連帯感の希薄化や家庭の教育力の低下など、児童、生徒を取り巻く環境が大きく変貌してきている。児童、生徒は、人間相互の触れ合いや自然との接触が少なくなり、直接体験も不足して生活力の低下がみられる。このような中で、イジメ等の問題行動に対処し、長期的観点にたった児童、生徒の育成を図るため、今年度は特に国の事業である「自然

教室推進事業」を取り入れ、児童生徒が豊かな環境の中で、集団生活を通じ人間及び自然的ふれあい、地域社会への理解を深める学校教育活動を推進し、心身共に調和のとれた健全な教育体制の確立を図り、国際化社会に対応できる人づくり教育に努めていきたい。

産業の振興

農業については、柑橘を中心に基盤整備を図り、農産物の自由化、貿易摩擦など国際的に対応できるものにするため、農協を中核として緊密な連携をとりながら振興に努めていきたい。

林業は、数年来継続している松くい虫跡地対策や優良材の生産指導を行うと共に、本町の特産品であるしいたけ及び原木確保についても十分配慮し、森林組合の経営基盤の強化を図り林業振興に寄与していきたい。

漁業については、拠点である漁港の整備を計画的に進め、早期完成に努めたい。また、魚礁設置及び地域沿岸漁業構造改善事業など継続的に行っていくたい。

商工業の振興については、第二次開発事業の完成により、消費人口の増加が見込まれており、大型店舗などに対応できる商店街の形成、共同事業の促進、個々の商店の合理化を図り、消費者ニーズに応え得る商店街づくりに努めていきたい。

今年度は、白滝商店街にアーチ建設が予定されており、商店街の力

ラー舗装を計画し、より一層の活性化を図っていかないと考えている。

住民福祉対策

高齢化社会が進むなかで、福祉対策は町行政にとって重要な柱となっており、核家族の進行、地域コミュニティの崩壊などにより在宅福祉のニーズは質的にも量的にも拡大し、一層深刻な状況になると予想される。本町においても社会福祉協議会が「地域福祉推進計画」を樹立して、寝たきり老人、一人暮らし老人に対する充実や生きがい対策などを行っていくことにしている。

おわりに

これからの町政は、議員各位並びに住民の皆さん方の建設的で積極的な参加なくして「楽しく住みよい、豊かで働きがいのある、美しい人情と文化の町づくり」を進めていくことはできないと考えている。

また、国、地方を通じての財政は今なお深刻で危機的状況下にあり、このような中で生きがいをもつて日々の生活を送ることができ、心のふれあう、豊かで美しい地域社会、誇りと愛着のもてる郷土を実現するためには、社会、経済の変動に弾力的に対応しつつ、住民の負託に応えられる行財政の健全運営を行っていかねばならないと決意を新たにしている。

議会・予算の使いみち今年度の特徴

全般的な特徴

本年度も深刻な問題をかかえる社会経済情勢の中で、耐乏を強いられており、自主財源の大宗を占める町税収入の伸びが期待できず、地方交付税の定率横ば

新しい事業や、とくに力をそそぐ事業、前年度当初予算に比べて大きく変化の生じたものを「特徴」とし、まとめてみました。(文中の％は、前年度当初予算との比較。一般会計の目的別費目総額の()内の％は、同予算の総額に占める同費目予算の割合)

イ、その他の収入においても増加要因を見いだせない状況であり、財政の健全化を図り、勇断をもって行政改革予算として打ち出すことにしました。単独支弁となる事業のほか、物件費及び補助金等の思い切った削減を継行し、当初において不確定要素の強い事業及び検討を要するものは財源の見込みの立った時点で考慮することにしていきます。

一般会計の予算総額は、前年度対比六・一％のマイナス規模となり、建設事業費では不確定なものを補正に、経常的経費はわずかに五・九％の伸びにとどまっています。

文書費では、ワープロリース料四十六万八千円。
有線放送施設は、豊茂幹線、須沢、櫛生線ケーブル張替、長浜、

電算導入費など



総務費

一般管理・文書
・広報・有線放送
・電話・財産管理
・企画・事務連絡・生活行政
・推進・徴税・戸籍
・住民登録・選挙などのことに使うお金のこと

3億8,971万1千円 (12.3%)

予算の使いみち今年度の特徴

行政改革予算

昭和61年度当初予算決まる

昭和61年度の当初予算が次の通り決まりました。(％は前年度当初予算との比較)

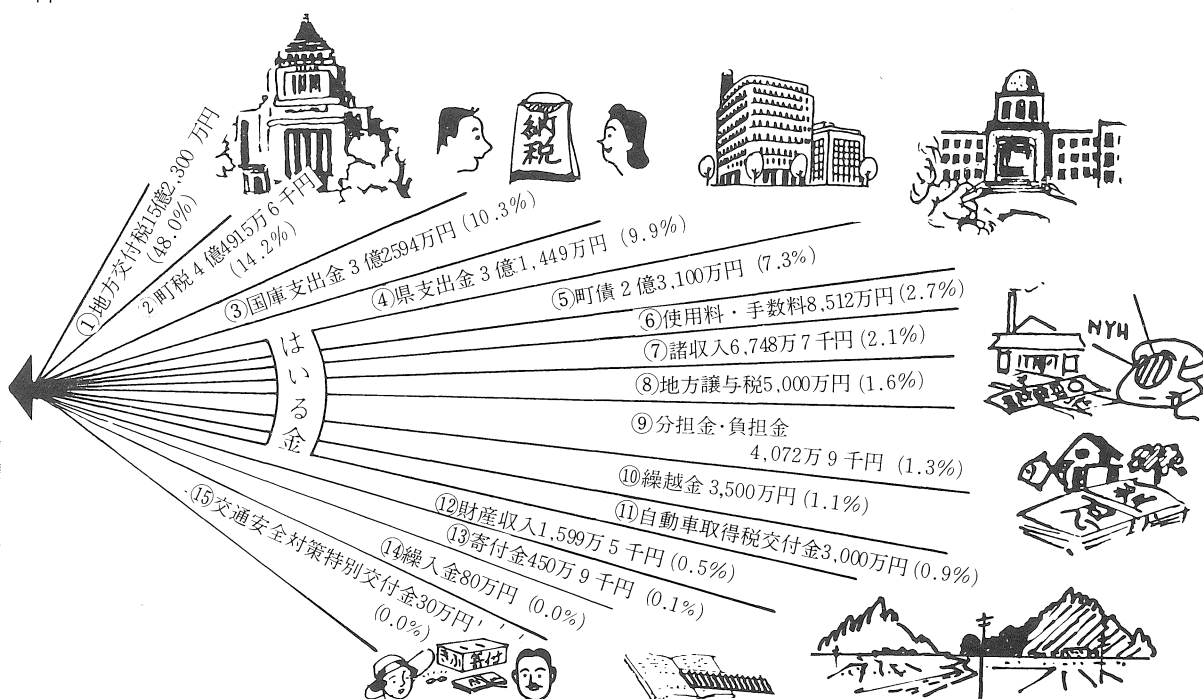
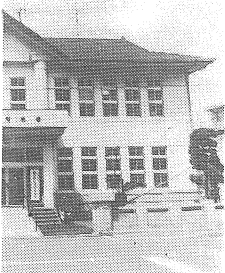
- 【一般会計】31億7,352万6千円 (6.1%減)
- 【国民健康保険特別会計】8億908万1千円 (5.3%減)
- 【国民健康保険直営診療所特別会計】716万円 (8.5%減)
- 【港湾施設特別会計】1,250万円 (25%増)
- 【簡易水道事業特別会計】2億131万3千円 (47.2%増)
- 【住宅新築資金等貸付事業特別会計】2,964万1千円 (45.5%減)
- 【老人保健特別会計】15億8,206万3千円 (12.3%増)
- 【臨海土地造成事業特別会計】24億8,817万8千円 (77.6%増)
- 【水道事業会計】収益的収入予定額1億6,087万9千円。収益的支出予定額1億6,087万9千円。資本的収入予定額2億1,305万円。資本的支出予定額2億4,855万5千円。
- 【工業用水道事業会計】収益的収入予定額2,527万円。収益的支出予定額2,450万1千円。資本的収入予定額0円。資本的支出予定額769万8千円。

一般会計

一般会計

円の歳入歳出

字は金額の順位)
占める割合)



議会・予算の使いみち今年度の特徴

黒田、沖浦幹支線改修工事をする
ことにしています。

企画費では、長浜町振興計画基
本構想策定委託料三百万円、町勢
要覧作成委託料百万円、青島、長
浜航路補助金、過疎バス補助金な
どを計上しています。

生活行政推進費では、コミュニ
ティ活動の施設として、峯今坊地
区、大久保地区、豊茂上地区に集
会所を建設することになっています。
また、今年七月二十日から開か

れるえひめテクノピア博への参加
負担金、パノラマ、各種パネル、
パビリオン展示料などを計上して
います。

電算導入費として、現状事務調
査および測定効果、電算コンサル
タント料などあわせて百五十万円。
今年九月二十四日で満了となる

町長選挙費二百八十五万七千円。
統計費関係では、事業所統計な
ど八十三万三千円を計上していま
す。

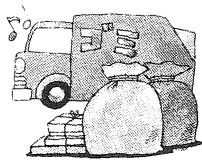


民生費

社・児
童福祉
福祉・
母子福
祉・国
民年金
・生活
・保護
・災害救
助など
に使うお
金のこと
6億341万2千円(19.0%)

福祉人材バンク
を設置

老人福祉について、補助金制度
の全般的な見直しが行われ、老人
施設費補助金百万円、高齢者年金
として二百五十六万円を計上。敬
老会関係で四百一十一万四千円、老
人クラブ育成費に百七十五万円、特
別養護老人ホーム負担金として百
三十万円、新しく今年度から実施
される福祉人材バンク設置事業に
五十万円を計上しています。



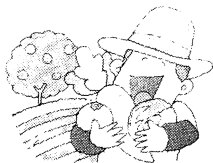
衛生費

保健
衛生全
般・公
害防止
・汚物
処理な
どに使
うお金
のこと
2億6,727万4千円(8.4%)

還暦検診を実施

健康づくりとして、各保健事業

社会福祉関係では、町社会福祉
協議会補助金三百二十万一千円、
重度障害者医療費に一千七十二万
二千円を計上しています。
母子福祉では、零歳児医療費に
三百一十五万円、母子家庭医療費
に二百七十九万五千円を計上して
います。児童福祉として、児童手
当の大幅改正により九割減額二千
四百五十二万六千円を、国民年金
も改正され一千六百六十二万七千
円計上しています。



農林水産業費

農業
・林業
・漁業
・関係な
どに使
うお金
のこと
5億9,296万5千円(18.7%)

柑橘老木園
改植事業など

農業委員会費においては、農業
者の地位向上を期するための委員
会運営と活動費及び農地調整費用
などの経費一千二百一十八万円を
計上しています。

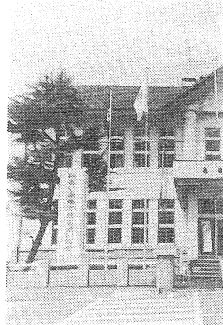
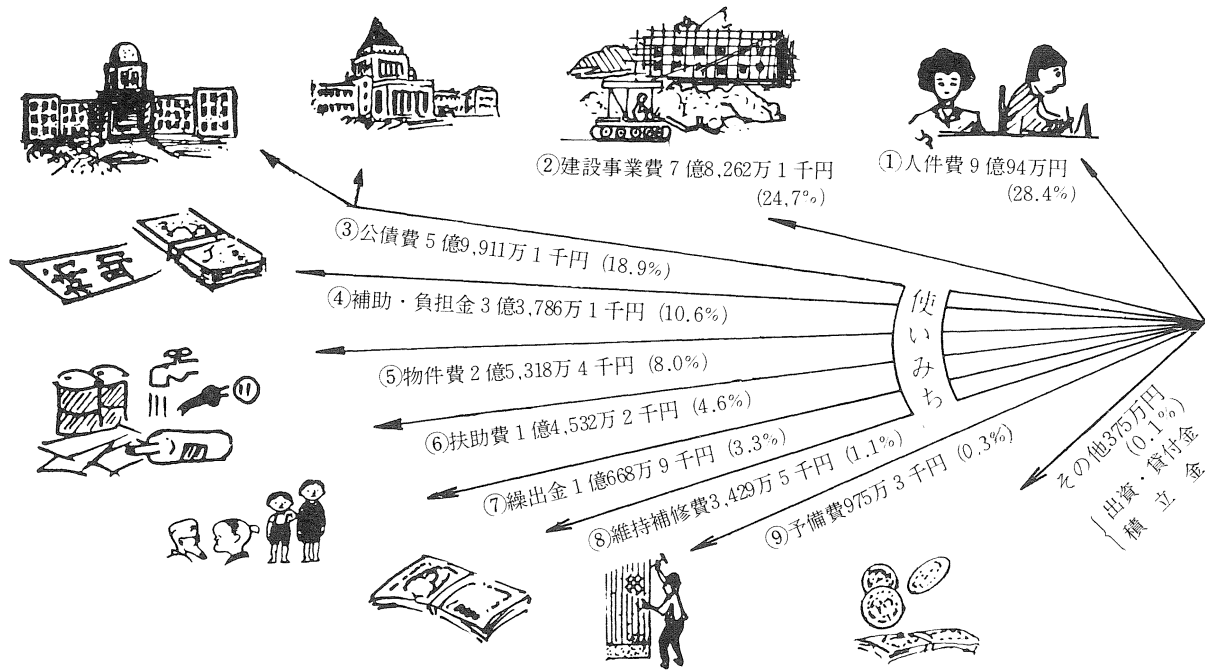
農業振興費では、農業生産、流
通基盤整備事業及び生産性向上の
ための諸事業に関する補助金、各
種協議会の負担金九百十三万四千

を推進し、各検診の受診率向上を
図るため、昨年に続いて本年も厄
年検診(男四十三歳、女三十三歳
を対象に胃がん検診、子宮がん検
診)を行い、新たに還暦検診を無
料で実施することになっています。
この検診は、今年六十一歳を迎え
た方を対象に胃がん検診をするも
ので、がんの早期発見等健康増進
を図ることにしています。
公害対策としては、新たに河川
の富栄養化を調査するため、七河
川八地点で河川水中に含まれる窒
素、燐の量を分析する費用十八万
九千円を計上しています。

性質別に見

31億7,352万

(金額は千円単位)
(①②など円内数
(%)は予算総額に



議会・予算の使いみち今年度の特徴

円を計上しています。そのおもなものは、柑橘産地若返りのための老木園改植事業と農地流動化奨励事業、養蚕団地再編整備事業など、その他国の施策である水田利用再編対策に必要な生産調整事務費、畜産振興のための共進会等の補助金を計上しています。

県単土地改良事業として城ノ台農道改良工事のほか七か所の舗装、水路の改良、また単独による農業用施設の補修費などを計上しています。

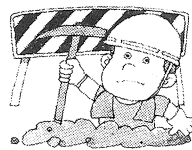
国土調査費では、継続実施している地籍調査に係わる測量費、集成図等の作成、登記事務に必要な経費二千六百五十七万一千円を計上。六十一年度を実施する地域は、大字下須戒の一部二・三平方キロです。また、面積測定、集成図、復図作成については、前年度に測量完了の大字穂積の一部と大字下須戒の一部で二・一八平方キロ計となっています。

林業費では、林業振興対策の一環として、国、県の補助事業を導入し、生産基盤整備事業などの経費八百八十九万一千円を計上。おもなものは、間伐促進対策事業、松くい虫被害跡地造林対策事業、しいたけ生産振興事業などです。また、叶松、足山線の林道開設に一千二百五十万円、林道出石寺線開設に一千十六万二千円を計上しています。

水産振興費では、今坊、櫛生地区の漁船補給施設設置工事費のほか、漁業振興、漁場整備のための

補助金一千八百二十七万円、魚礁設置関係では、築いそ、並型魚礁の工事請負費などを計上しています。

漁港建設については、沖浦漁港のほか四港について管理費とあわせて二億九千五百五十一万七千円を計上しています。



土木費

道路・河川・港湾・下水・道交・交通安全・施設などに使われるお金のこと
2億5,218万6千円(7.9%)

道路網整備計画書

を作成

土木総務費では、道路網長期整備計画書作成委託料百万円を計上しています。

国庫補助、県費補助などを活用して、町道柿ノ久保線ほか十三か所の改良、舗装、橋梁改修などをするにしています。

河川維持関係では、谷上川護岸復旧などをするにしています。

港湾については、港湾台帳図面の修正および施設、内港清掃費などあわせて五百三十五万五千円を計上しています。

交通安全施設のガードレール設置に二百万円計上しています。



商工費

商業・工業・観光・関係にお金を使うこと
2,397万6千円(0.7%)

商工業

振興費など

商工業の振興を図るための補助金及び中小企業振興資金の融資に必要な預託金、また観光事業推進のための補助金、負担金等を計上しています。

このほか、観光パンフレットの作成、街路灯の修繕費及び公園等の維持管理に必要な経費を計上しています。



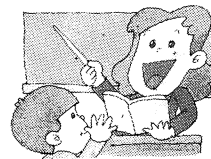
消防費

防火・防災のために使うお金のこと
1億1,297万3千円(3.6%)

消防ポンプ

自動車を購入

今年度は、四十立方メートル級の防火水槽二基(柴、豊茂)を設置することになっています。また、長浜分団第三部(沖浦)へ消防ポンプ自動車、喜多灘分団へ小型動力ポンプを購入することになっています。



教育費

学校教・育・社会教育の全般に使うお金で公民館・保健体育などの費用も含まれます
2億6,079万円(8.2%)

自然教室
推進事業など

長中生徒の健全育成と生徒指導の充実を図り、集団宿泊生活を通じての人間及び自然的ふれ合いや地域社会への理解を深め、生徒の心身ともに調和のとれた健全育成に資するための自然教室推進事業費や社会教育関係、学校管理費等に必要な経費を計上しています。



議会費

町議・会運営のために使うお金のこと
5,967万9千円(1.9%)



労働費

労働条件の改善などのために使うお金のこと
163万6千円(0.1%)

国民健康保険

8億908万1千円



医療費改正、医療技術向上などにより医療費は伸びておりますが、老人保健法の改正によって老人保健拠出金の大幅な減額が見込まれるため約5%の減額となっております。健康づくり対策を充実させて医療費の抑制を図ることにしています。



予備費

あらかじめ定まっている目的以外に使うお金のこと
975万3千円(0.3%)

特別会計



公債費

借金の返済に使うお金のこと
5億9,917万1千円(18.9%)

勤労者体育センターの管理委託料などで、総額一四・八%多くなっています。
総額で三・七%多くなっています。

議会・一般質問

長〓二十二万八千円(二十一万円)
▽委員〓二十万三千円(十八万七千円)

【農業委員会委員報酬年額】会長
〓十七万八千円(十六万四千円)
▽会長代理〓十六万四千円(十五万一千円)▽委員〓十五万円(十三万八千円)

石堂〓豆柳線

町道認定

今回「石堂〓豆柳線」が町道として認定されました。この路線は、戒川地区内の集落、県道藤縄〓長浜線、町道豆柳〓大戸線に接続しており、道路網形成上主要な路線として位置づけられているものです。

75歳を80歳以上に

高齢者年金条例

長浜町高齢者年金条例の一部が改正され、これまで七十五歳以上のお年寄りに年四千円支給していたものが四月一日から年齢が八十歳以上に引き上げられました。

庁舎建設の準備

長浜町庁舎建設基金条例

長浜町振興計画基本構想に基づいて、庁舎の建設資金を積立てるため、長浜町庁舎建設基金条例を定めました。

これは、老朽化している長浜町庁舎を改築するための準備基金であり、今年度から建設年度における財政圧迫をきたさないよう財政の許せる範囲内で積立てようとするものです。

港湾整備を円滑に

港湾整備基金条例

長浜町港湾整備基金条例が制定されました。これは、振興計画基本構想に基づく港湾整備を円滑に推進するため、いつでも財政対応ができるよう基金を設けるものです。

長浜水族館を廃止

このたび長浜町水族館設置に関する条例が廃止されました。長浜水族館は、県下で唯一の水族館であり、五十年余りの歴史をもっていますが、老朽化した施設をそのまま存続することに問題があり、六十年度に施設を取り壊したもので、そのため条例を廃止することにしたものです。

このほか、長浜勤労者体育センターの管理運営に関する条例、長浜町老人施術補助金支給条例、長浜町国民健康保険条例、職員の給与、特殊勤務手当に関する条例の一部が改正されたほか、長浜町体育照明施設、町立学校屋内運動場使用条例が制定されました。

一般質問

今回の議会では、城戸岡政雄議員、二宮義徳議員、和田永吉議員、田中堅太郎議員、大野真良議員、西宮正幸議員、東正行議員が質問を行いました。

今坊地区埋立工事

六十四年に完成

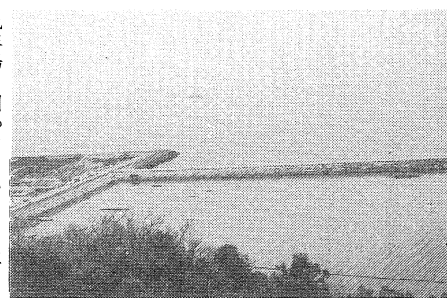
第二次開発の現況と今後の工程

城戸岡議員：円高、ドル安ということで、輸出産業が非常に低迷しているが、長浜町が企業を誘致しようとしている石橋産業、及びセントラルや地場産業は輸出に連があるのか、ないのか。あるとすれば企業との接触をその後行っているのか。

現在までの経過報告と埋立工事の進捗状況はどうなっているのか。埋立工事の今後の工程と完成したとき、この港湾が重要港湾へ昇格する見通しがあるのか、ないのか。

臨海土地造成事業の会計をみると、六十年度が十四億百二十万円で二二・一％、六十一年度が二十四億八千八百七十八万八千円の三九・九％で合計六一・四％となっている。完成が六十四年の十一月末とすれば、二年十一か月で残り三九％ということになる。二年間で六一％できるのが、なぜ二年と十一か月かかってあとの残りが四〇％弱になるのか。

日本経済も世界的な不況の中で底をつき、円高、ドル安が続いており、第三次開発事業を進めることは企業の立地の問題からして困難であると思うが、このような不景気なときであるから開発事業を推進して、長浜町の経済発展、景



450mの概成ができた埋立地

に着手、その後護岸四百五十メートルがほぼ概成し、伊方原第三号機建設残土を受け入れるための試験投入を行い、その状況を調査して結果は良好であったため今年二月十日から投入を開始している。

現況としては、六十年度予定一号護岸四百五十メートルの概成を終り、残りの一号護岸と二号護岸の一部基礎捨石及び伊方原第三号機建設残土約二千五百立方メートルの受け入れをしている。昭和六十一年度は、一号護岸の残り二百六十メートル、二号護岸四百四十メートルの概成を行い、一部三号護岸の基礎捨石、置砂の施工と汚濁防止膜の移設を行う計画である。また、建設残土約六十立方メートルを受け入れる計画で四国電力とつめを行っている。六十二年

度には、三号護岸の概成を行うとともに、一号、二号護岸の上部工に取りかかり順次護岸の完成を行い、残りの伊方の石材百万立方メートルの受け入れを終了させることにしている。六十三年度には、前面海域よりポンプ浚せつを行い、六十四年度は整地を行って、排水工、道路工を施工し、十一月完成の予定で努力している。

第二次、第三次開発事業の完成を目指すためには、長浜港が重要港湾に昇格し、港湾整備の促進を図ることが不可欠であり、六十一年度から県とともに国へ陳情を行うなどの積極的な運動を展開し、六十二あるいは六十三年度を目標に昇格を果たしたいと考えている。予算的に工事の進捗をいうと、

経過については、昭和六十七年七月二十六日に起工式を行い、工事

議会・一般質問

六十年度が十二億六千六百万円、六十一年度が二十三億四千二百万円、六十二年度五億七千万円、六十三年度十七億九百万円、六十四年度四億六千三百万円であり、六十三年度の工事が少ないのは、三号機建設残土百六十五万立方メートルを受け入れるため、むこうの工事とこちらの工事の進み具合の組み合わせがあり、そのような経過になっているのでご理解頂きたい。

第三次開発については現在構想を策定中であり、内港埋立て造成事業の第一工区と防波堤前面埋立て造成事業の第二工区に分けて進めていきたいと考えている。第一工区は、町の中枢的機能としての都市機能用地、及び町民憩いの場としての生活環境整備用地を配し、第二工区は港湾関連用地、ふ頭用地、工業用地、都市再開発用地等を中心とした構想である。役場庁舎等緊急を要する第一工区の埋立てから手をつけていきたいと考えており、事業計画を早急に取りまとめ、六十一年度から関係調査に入り、環境アセスメント調査等を終え、実施計画を策定し、内港の埋立て造成に入りたいと考えている。

城戸岡議員：第二次開発は年次計画でいつごろまでにできるのか。第二次開発の完成によって雇用の場、要するに何人くらい働けるのか。

泉課長：今坊地区の分については雇用人員は三百七十八人である。内港とか外港の分については煮つ

まっていない。

今坊地区の埋立ては、六十四年の十一月に工事は終り、残り数か月で地名や番地をつけたり、竣工の確認の事務などをして翌年三月末に終了することになる。

清水主幹：工事は、護岸工事、埋立て工事、排水路、道路、整地工事の三つから成り立っている。護岸工事が事業費の七〇%近くを占めている。

出来高としては、六十年度二〇%、六十一年度五七%、六十二年度六六%、六十三年度九三%、六十四年度の十一月で百%という数字で設定している。

PTA、父兄の協力を得て

戒川小改築は検討

教育問題

二宮(義)議員：学校の施設については毎年のように意欲的に整備され、義務教育課程十校の中では大体九割程度が整備されていると思う。過疎の中にある戒川小学校は危険校舎の中に入っており、児童数は非常に少ないけれども、地元としては改築して欲しいという要望であるが、町の教育行政の中の理事者と委員会はどうのように取り組んでいくのか。統合するのか、しないのか。

一月十九日に長浜中学校統合二十周年記念式典が行われ、大勢の皆さんの祝辞があった。その中で衆議院議員西田先生から「一番良



2人が入学した戒川小学校

かった学校が一番悪くなった」という発言があったが、このことについてどのように受け取めているか。今後の取り組み方を委員会として、考えたり、話し合ったりしているか。また、理事者との話し合いはあったかお聞かせ頂きたい。

義務教育は、現場と行政と教育委員会がひとつになって取り組まないと教育効果は上ってこないと思う。委員会はどのような現場との連携をどのようにしているのか。連携することにより、皆さんの協力を得て、イジメとか暴力を未然に防ぐことにつながってくると思う。学校の校長以下現場の先生が委員会のふところの中に入っていくと共に、今後そういう問題を解き、整理して心配をかけない体制をつくり、時をとらえた会合などをもって取り組んでいく義務があるのではないかと思うが、

今のように感じているか。今のような大事な教育行政の中、まがいのな立場で責任をまっとう

することはできないのではないかと思います、委員会としてこれだけ十分だという考えがあるのか。

旧長浜町には自由に使える公民館や集会所がなく、「図書館などもお願ひします」というと、「やります」という返事であるが、どのような考え方でそういう返事をしているのか。

三井教育長：中学校統合の時に、その条件として小学校は統合しないという約束があると聞いている。現在、戒川小は児童十五人、先生四人で複式の三学級で経営されており、教育効果は上がりにくいというのが現状である。地域の人も非常に熱心に学校の存続について考えておられ、早晚新設しなければならぬということは感じており、統合という形はとりたくないというのが偽らざる気持である。地域の人で、運動場の拡張を盛んにやって頂いており、そのようなことの上になつて今後の配慮を考えていきたい。

長浜中学校は過去二年間、文部省の指定になつており、生徒指導の研究指定校ということで学校も取り組んでおり、委員会としてもそのような形で対応してきている。二年目の当初に事件が起こり、非常にショッキングな気持ちをもつたが、その後PTA会長をはじめ、父兄の方々のご協力を得て現在のような形で対応している。子供たちは、教師の団結、そして子供の心にくい入るような対応、かたくなな気持ちを解きほぐして

いくような姿勢、そういうものが私達には大事だということを感じている。教育事務所長や管理主事、生徒指導課長とも懇談をしたり、今後の対応なども十分話し合っている。

二十周年の時のお話はショッキングを受けた一人であり、その後の問題については校長とも話し合いを進めながら取り組んでおり、PTAの会合にも参加させて頂き、意見を述べている。教育委員会としてもこのことは話し合っている。いろいろ問題がでてくる現状の中では、満足感はひとつもっていない。その辺の対応を真剣に取り組んでいかなければならないという姿勢だけは堅持して、十分自覚をもっている。

二宮町長：戒川小の児童数について今後どのような推移をたどるか現在確認していないが、減少するというように考えており、改築するかどうかについては慎重に検討しなければいけない問題だと思

っている。公民館、図書館等については、第三次開発と合わせて建設の計画があり、当面分室とか体育館の一部を改造して読書ができるような施設を造っていききたいと考えている。

地方交付税

四%の伸び

財政運営

和田議員：厳しい財政状況下に

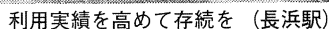
次に、行政改革の最大のねらいは行政の人員や組織をできるだけ小さくすることにあると思う。このためには定員削減を見直し、勸奨退職の推進を図る必要があるのではないかと。又一方職員の意味向上のため給与に関するラスパイレズ指数を上げていく考えはあるかと。佐田岬半島が半島振興法の地域指定を受けることが新聞にでていたが、この半島振興法の指定を受けると各種の国の補助や進出する企業に対する地方税の減免など財政上の優遇措置を受けることはいうまでもない。このことについて町はどのように対応され、また、地域指定が受けられるのかどうか伺いたい。

半島振興法の指定候補地は、佐田岬半島など十九地域を選定し提示されている。当町もこの中に入れて頂くよう陳情など続けてきたが、指定基準があり、それは二つ以上の市町村からなり、人口規模が十万以上、高速道路、空港、新幹線のうち二つ以上の利用がむずかしい地域、農林漁業など第一次産業の従事者が全国平均の二倍以上、過去三年の財政力指数が

二宮町長…事業費は約七億円で
ある。

日田収入役：昭和六十年度の開発事業に伴う縁故債の確定額は十三億二千万円である。二月下旬にこのレートについての申し入れを行ってきたが、急激な円高による公定歩合の引き下げ、流動化の中で交渉をもち、最終的に六・二％のレートで借り入れを決定した。開発計画で七％をあげているが、その差が〇・八％となり、単年度で千五百六万円、六十四年度末までの四年間で四千二百万円程度での金利の負担軽減になると思う。

内山線の今後の安定、利用確保の見通しはどのように考えているか。八幡浜から松山に向うお客に對し、時間が短縮されるということで駅員が大洲駅への乗り替えを呼びかけていると聞いたが、これは海岸線回りの推維存続に對し大きな影響があると思う。実態を確認し、対処すべきだと思うがどのように考えているか。



二宮町長：それぞれの地域、それぞれの利用目的ごとに国鉄を利用している方からアンケート調査をしたり、国鉄予讃本線対策協議会の担当者会を開いて、今後どのようなダイヤを変えることが地元の方にとって利便性があるのか検討を加え、国鉄の四国総局、県当局へ陳情を行うことにしている。

十一月のダイヤ改正時に、便利の悪い時間帯を変更し、増便して頂き、快速列車を走らせてもらうよう、また、民営化までにCTC化を完備して頂くようお願いしたいと考えている。対策協議会といっしょに強力な運動を展開し、沿線の皆さん方にも利用して頂くようお願いしていきたい。

内山線開通後の海岸回りの利用状況は現在調査中であり、その結果により対策をたてて今後の運動の参考にしていきたい。

便数については最低二便増便して頂くよう考えている。

八幡浜から内山へ回ってもらうことについての抗議はなかなかできないと思う。海岸回りの鉄道を利用してもらうよう住民にPRして頂くことは強く要請している。夜間照明については、国鉄当局へお願いしてそのようにして頂くよう配慮したいと思う。

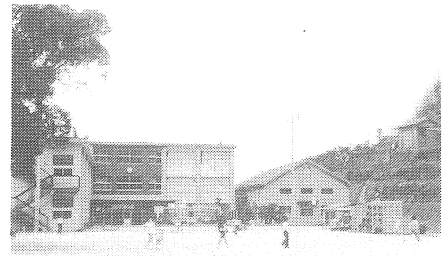
用地を確保して

〓櫛生小屋内運動場〓

田中(堅)議員：近年各地区において屋内運動場が建設されており、これは教育に深い理解を示される町当局、国、県の指導とご支援の賜と思う。しかし、櫛生地区においては長年の悲願ながら建設の運びとなっていない。当地区においては、用地関係が問題であり、建設が延びているという話を聞くが、用地関係の適切な指導と確保をお願いし、近代的でより機能的な屋内運動場の早期建設を要望したい。

地域の方からは、現在講堂が建っている場所を少し拡張すればできるのではないかとという意見がでており、その計画に対する設計なり、方向づけをしたことがあるか。

二宮町長：たびたび陳情頂いており、ご要望に沿うよう配慮したいと思っているが、現在の櫛生小の敷地をみてみると体育館の建つ余裕がないということで、敷地をどこに求めるかということが大切である。適当な敷地がみつかったら買収し、建設にかかりたいと考えているので、地元で用地確保についてご配慮頂きたい。



屋体建築の要望がでている櫛生小

現在の跡地について正式な調査はしていないが、うしろがガケになっており、上に道路があるということで影響がでてるのではないかとという考えがあり、外面的にむつかしいのではないかとという見解をもっている。なお、細かい調査をさせてみたいと考えている。

道路見直し

の中で検討

〓町内の道路整備〓

大野議員：国道三七八号線の旧町内の整備においてどのような進捗状態であるのか。国鉄駅前の法線が決つて、土地の了解ができてないという話があったと思うが、今はどのような状態になっているのか。

県道大洲長浜線は、大洲に高速道路が入つてきて、長浜の開発ができあがったとき即応する路線として貴重な路線であると思う。仁

久から開発されている地点へ通じる道路が現在の道幅で対応できるであろうかと考えると、整備していかなくてはならないと思うが、どのような計画で、どう進めているか。

長浜中村線のうち、現在柿早から沖浦へ通じる面で明るい見通しがついてきたと思うが、柴小学校から小谷等における路線計画はどうなっているか。また、県との折衝はどうなっているか。

町道大平線の整備もだいぶん進めて頂き、道幅も以前に比べだいぶ良くなつてきたが、富茂から元の白滝農協に至る線は、白滝の観光という観点からも重要な路線であり、もう少し幅を広げて二車線程度の道にして頂きたいと思うが、どう考えているか。

元の柴村と白滝村の間にある橋は、現在でもちよつと水がでると通行止といったような状態になっているが、今後いつごろ改修されるのか。

二宮町長：国道三七八号線の長浜工区については、地元の了解を頂き、駅から明関さんの所まで改良にかかつていくということで話を進めており、本年度の予算は全額消化できるということである。来年以降も計画に従つて逐次買収し、改良に手をつけていきたいのをご理解頂きたい。

仁久から本町を通つて港湾の方へでる道路については、道路の見直し計画の中で検討することになっている。

長浜中村線で柿早、大洲間については、県の意向を聞いて早期に改良整備の調査をし、改良にとりかかつて頂くようお願いしたい。

町道大平線の白滝に近い部分についての路線の幅は地形上できないということであり、田刈から不動滝へ回して大平線のカーブへつないではどうかということを検討中であり、県、国へも計画として上げている。

白滝地区では現在堤防用地の買収を進めており、一部三月末までに本年度計画分については買収が完了する予定である。堤防ができた時点で、堤防から堤防へ渡すということでも橋りょう整備をしたいと考えている。

農地整備の使用

は困難

〓ブルドーザー使用〓

大野議員：昭和六十年代において長浜町内にたばこ耕作組合員が二十一人、去年の販売数量が二万三千キロである。六十一年度には白滝十二人、豊茂八人ということになる。今後の農業面において段畑栽培であるため、土地改良という意味からも、また、高齢化社会を迎えると今の段畑ではやりにくいので町のブルドーザーを借りて耕地整備をしたいという要望があるが、この点についてどう考えているか。

二宮町長：たばこ耕作について、後継者のない人や面積の小さ

い人は減らされていくのは事実である。農協も代替作物をどうするかということを検討しており、町としても心配している。

現在町がもっているブルドーザーは、林業構造改善事業による国の補助で購入したもので、長浜町機械管理運用規程を定め運用している。その中に農地の整備は入つておらず、このブルを農地整備に拡大して使うということはむづかしいと思う。要望の内容は十分理解できるので、今後どのように耕地整備をやっていくかということについては検討していきたい。

大野議員：補助事業で買ったものだから拡大して使用することはできないということであるが、これは条例を改正しなければ使用できないのか、それとも町長の判断で使用できないのか。

二宮町長：現在のところ補助的に沿つた使用しかできないと理解しているが、要望も強いので十分検討して対応していきたい。

ダム建設対策案をたて対応

大洲市と連携とり

〓河辺川ダム建設〓

西宮議員：河辺川ダム建設についてはたいへん関心をもっており、大洲市の近田市長は「大洲市としてはダムの必要はない」と明言されている。肱川町では住民こそって署名を集め、ダム建設反対運動が行われているが、当町としては

保育所職員異動

どのように考えているのか。

分水の給水地点が八多喜の石橋地点を予定していると聞いているが、最下流にある本町にとつては、流量減をきたし、塩素イオンが上昇して、上水道、工業用水をはじめ漁業等に及ぼす影響は誠に大であると思う。先日、推進協の方々から、大洲、長浜にはひとりの挨拶もなく、これは軽視されているのではないかと思う。受益者側は、ダム建設によって水源地域に及ぼす被害や認識が不足しているのではないかと思うが、町長はどのように考えているのか。

このことはたいへん重要な問題であり、関係市町村特に大洲市と常に連携をとりながら、国、県に対して運動を展開してゆくべきであると考えているが、基本的姿勢について伺いたい。

二宮町長：河辺川ダム建設は、本町にとって重大かつ深刻な関心事であり、なんら国、県より公式に説明がなくスタートしたことは極めて遺憾である。

洪水調節並びにかんがい用水については、被害防止及び農業振興上措置されるべきものであり当然だと思ふが、中予地区への分水については流量の絶対量が減つてきて不安はぬぐいきれない。このことは慎重に対応しなければならぬと考えている。

本町としては、ダム建設の対策案をたてて対応しなければならぬと考えているが、環境アセスメ

ントを実施して、現状調査、予測調査をし、その結果をふまえて検討しなければいけないと思つてい

る。内水面、海面漁業への悪影響

については、石橋の取水口をできるだけ河口に近いところにできないものかという考えをもっている。

以上の結果が明確になり、そのこ

との対応ができなければダム建

設、分水には賛成できない。

今後は大洲市と連携をとりなが

ら、国、県に対して強力な運動を

展開していきたいのでご協力を賜

りたい。

開発事業に全力

三選出馬の考え

西宮議員：二宮町長は町民の熱い人望を受け、一期、二期と連続

無投票で当選され、八年間町行政

に尽力され、いろいろな業績を残

してこられ、第二次開発に取り組

まれて現在着々とこの工事が進行

している。着工決断されたことは

二宮町長の英断であり、評価され

るが、このような大事業である開

発がなされるさ中、三期目の満期

改選が九月にあり、あと六か月に

なっているが、三選出馬の考えを

伺いたい。

二宮町長：現在第二次開発の推

進と第三次開発計画の立案と行政

改革の推進に全力で取り組んでお

り、現在の仕事に精魂を傾けてい

るのでご理解とご協力を頂きた

い。

将来の水需要

水道事業に

東議員：水道事業は、独立採算

性の原則に基づいて経営されてい

るといわれている。このようなこ

とで四月から平均四一・二％の料金

改定がなされることになったと理

解しているが、本年度水道事業会計

予算において二五・八％に当たる四

千五百五十万が一般会計から繰り入

れられている。理想的な姿に一日

でも早くすべきであると考えてい

るが、ご所見をお聞かせ頂きたい。

最近工事中であるためか、再々

断水があり、住民は非常に迷惑を

受けている。予告なしに断水され

ると営業や水洗トイレなどに多大

な影響があり、今後このようなこ

とが起きないように管理態勢の強化

をお願いしたい。

二十六人を異動

保育所職員

4月1日

保育所職員の人事異動を、四月

一日付けで行いました。今回の異

動者総数は二十六人。内訳は、所

長級三人、主任保母級七人、保母

級十三人、栄養士一人、調理員二人

なお県から当町開発推進のため

に派遣されていた清水太郎主幹と

山口紘課長補佐は帰県、かわつて

玉乃井明主幹と大野武信課長補佐

が派遣され着任しました。また、

当町から県へ派遣していた西岡敏

博主事は開発課へ、経済課の吉田

直人主事を県市町村課へ派遣。

四月一日付けで異動した保育所

職員は次の通り、(一)は旧任。

【保育所長級】長浜 下田美澄

浦(長浜)▽沖浦・玉井 徳美(大和)

▽大和・谷川俊子(長浜)【主任保

母級】白滝・宮岡民子(大和)

▽白滝・三好五月(沖浦)▽沖浦

矢野幸子(喜多灘)▽榎生・平野

悦子(長浜)▽出海 宮本邦子(大

和)▽出海・児玉智代(大和)

▽大和・菊地さと子(豊茂)▽大

和・清水郁子(白滝)▽大和・白

石玉子(榎生)▽喜多灘・矢間栄

津美(白滝)▽豊茂・西山みち子

(長浜)▽豊茂・横山典子(喜多

灘)【栄養士】長浜 大橋京子(住

民課)【調理員】長浜 笹本直江(大

和)▽大和・岡崎美智子(長浜)

資を行っており、その費用である。減価償却費や支払利息のすべてを料金収入でもって当てることは困難でないかと思われるので、全国及び県内料金を考慮して料金改正を行い、資本費の一部を補助するにしている。今後は開発事業の推進によって水需用が増加し、また経費節減を図って本来のあるべき姿に進めていきたい。

県道長浜中村線の改良工事が並行して行われており、上水道の配水管布設工事がそのたびに影響を受けている。大型車の乗り入れによって、老朽化している配水管の

突発的な破損事故で断水などを起こしているが、この工事もまもなく終了するのでご理解とご協力を頂きたい。

昭和五十八年度に第三次拡張改良事業が始まり、六十三年度でこの計画が完了する予定である。今坊地区については、昭和六十二年

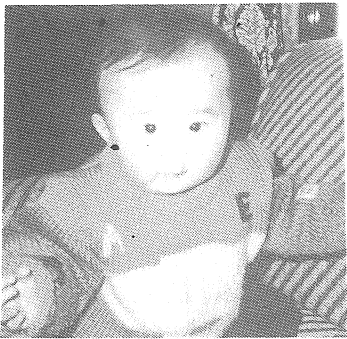
度、六十三年度で県の補助事業に組み入れ、上水道の配水管延長によつて各地区の現施設を統合する

という予定である。埋立中の今坊二区については工事の進捗状況にあわせて配水管の布設を行つていきたい。

一歳ですコンニチハ ③⑤

矢野佳織ちゃん (黒田)

木々の緑が美しい五月生まれです。女性として最高の人生がおくれるようにとの願いを込めて「佳織」と名付けました。生まれたときは体も標準以下でしたが、病気もせず、今ではとても元気な女の子に育っています。
健康で明るく心の優しい女性、多くの人に親しまれるような人になるに成長して欲しいと思っています。
(父〓矢野常義さん31歳・母〓幸子さん31歳)



家庭看護のABC ⑩

手洗いは消毒の基本です。だれでもごく日常的にしていることですが、病人の看護をするための手洗いは、格別の人念さがいります。消毒のしかたには、石けんやクレゾール液などを使った方法があります。

▼石けんを使って▲

①手は、まず水洗いした後、石けんをつけてこすり、ていねいに洗う。特に汚れやすい指先や爪のまわり、洗い忘れがちな小指の外側

を使って、洗い残しがないようにすすみみまでこすりとおく。
②一〜三%溶液を使う。消毒時間は、一〜二%溶液なら二〜三分以

に気をつける。
②石けんを水で洗い流し、①をくり返して二度洗いしてから清潔なタオルでふく。
伝染性の病気などで、特に医師の指示がある場合は、薬品を使って消毒します。

クレゾール石けん液を使う場合の注意点

①消毒する前に、石けんとブラシ

消毒(2)

手洗いは入念に

☆原液が皮膚につくと、知覚マヒ↓壊死(細胞などが局部的に死ぬこと)になるので、すぐに流水で洗い落としてください。
☆溶液を入れた器は、日光の当たらないところに置いてください。日が当たると消毒力が低下します。
☆溶液の交換は、色が濁ってきたり、ねずみ色がかってきた時を目安に、一日数回行ってください。

▼逆性石けん液を使う

①一%溶液を作り、溶液中でブラシを使って一分以上洗う。
②タンパク質は消毒力を落とすので、手に便や痰がついた時は溶液で消毒する前に、しっかりと洗っておく。

＜逆性石けん液を使う場合の注意点＞

☆逆性石けんと普通の石けんは絶

上、三%溶液なら一分以上とし、溶液の中でブラシを使って手をこする。

▼クレゾール石けん液を使う

☆クレゾール石けん液は、正しく分量を計って作ります。一%より三%溶液のほうが効果があります。三%溶液になると、皮膚の弱い人は手荒れすることがあるので注意してください。



長浜文芸

豊茂俳句会

対に混用しないように注意しましう。少々泡が混じるだけで消毒効果がなくなります。
☆逆性石けんは無色無臭、刺激性がなく日光や熱にも強いので、一般によく使われます。病室の拭き掃除に溶液を使うと消毒効果があります。

高左 木芳
恋猫の尾を立て月の屋根を行く
菊地 徹
麗かや畦に抜けし小商ひ
米岡 幸市
うらかや天守の高さに我が病棟
一宮 博
うららかやかくかくと鳩歩く
渡辺 恭一
婆の手を拂ひ歩む児路地うらら
亀田 哲久
着ぶくれて過去をひきづる話しぶり
小西イセ子
あたたかや松葉杖にて見送られ
松田 裕子
かたわらに退職の夫石尊取り
増田キヨエ
銀紙の縞のスカート学芸会
久保 七葉
吾が記憶呼び戻さるる卒業歌

日曜当直医

今月の日曜当直病・医院は次の通りです。

- ◎5月3日 米川医院 ☎0165
- ◎5月4日 岡田医院 ☎0639
- ◎5月5日 菊地医院 ☎0209
- ◎5月11日 門屋医院 ☎0202
- ◎5月18日 辻 医院 ☎0174
- ◎5月25日 石村病院 ☎0275

乳児健診

- ◎5月9日 町役場分室 午後1時
- 〓2時 対象は昭和60年6月、9月、12月生まれの子供さん。

一歳半児健診

- ◎5月30日 町体育館 午後1時
- 〓2時 対象は昭和59年9月、10月、11月生まれの子供さん。

ポリオ生ワクチン投与

- ◎5月27日 町役場分室 午後1時
- 〓2時 対象は昭和60年2月1日から61年3月31日の間に生まれた乳幼児。ただし、満四歳までの子供さんで二回受けていない方。

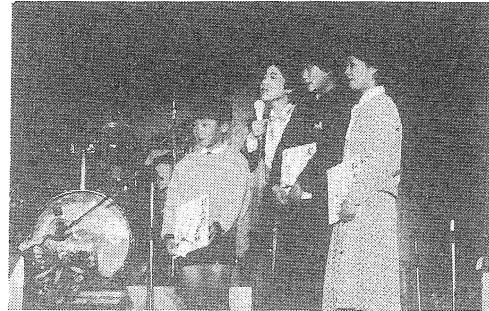
成人病検診

- ◎5月7日 出海公民館
- ◎5月8日 櫛生小学校
- ◎5月19日 大和公民館
- ◎5月26日 白滝公民館
- 時間はいずれも午前10時から11時30分、午後1時から2時30分。

ルポ・一宮長房日記抄

心の温かい町

～水前寺清子ショー～



三月三十日長高
体育館で水前寺清
子ショーを開催。
「涙を抱いた渡り
鳥」など数曲を披露
し、万雷の拍手を
浴びていた。「トマ
ト、キュウリ作り
などの家庭菜園や
料理、編み物など
が好き。長浜はお
となしく、心の温
かい方が多いです
ネ」とインタビュ
ーにきさくにこた
えていた。

豊かな人間性教育を

～教育事始め式～

四月十一日、町
体育館で昭和六十
一年度教育事始め
式が行われ、町内の
教職関係者およそ
百五十人が出席。小
中高あわせて二十
六人の新任教員の
紹介が行われ、長平
豊茂小学校長と宮下
戒川公民館長が学
校、社会教育につ
いての意見を発表
その後、曾我静雄
先生の「現代教育
への提言」と題し
た講演が行われた。



消防車庫、詰所完成

～沖浦地区～

このたび沖浦地
区（長浜分団第三
部）に消防ポン
プ自動車用の車庫と
詰所が完成。これ
までの車庫は公民
館と併設し、消防
活動、社会教育活
動に支障をきたし
ていたため、県の
補助を得て建てた
もの。建築面積は
五〇・五八平方
で、事業費は四百
十八万円。

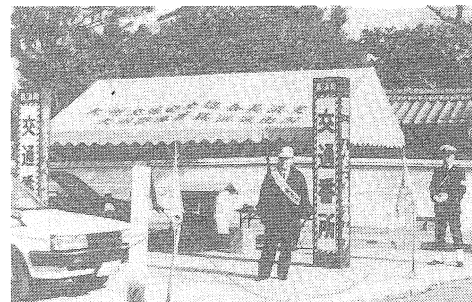


死亡事故ゼロめざし

～交通番所を開設～

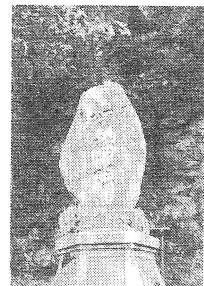
死亡事故をなくす
よう呼びかけた。

四月六日から春の全国交通安全運動が
展開され、本町でも駒手町入口に交通番
所を開設。七日前は二宮町長、大洲警察
署外勤課長、長浜派出所長らがでて、シ
ートベ
ルト着
用の指
導をす
るとも、
本町か
ら交通
死亡事故



一宮長房日記抄(終)

一宮長房翁頌徳碑



郎、永井秀吉、松田半右
衛門、藤岡茂七、小西豊
己、請負人平山新太郎、
石工白滝村加屋酒井繁好
の名が刻まれている。碑
文の大意は次の通りであ
る。

長房翁は資性温厚で和
漢の学に通じ、三十余年

昭和四年四月二十八
日 本日八愈晴天ニテ
午前十時開式ニ付自分
ト家族一同子女且ツ矢
野高頼モ来村一同コシヤウシヤ
クニ着松田ノ方ニテ休息ス菊地
正儀君モ参列ノ為メ面語其時下
田村長山口書記医師等モ来リ休
憩ス正十一時ヨリ落成祭開始菊
地神職斎主タリ世話人幹部一同
参列者参観人及写真師来リ一祭
典ニ除幕三式辞四決算報告五祝
詞演舌(菊地正儀、下田村長菊
地亀三郎、山口佐三雄)六謝辞
(家族総代幸夫親族総代矢野高
頼自分の謝辞)了リテ撮影(一
般一宮家族親族一同)七撒餅八
宴会(池田ノ田ニテ)九活動写
真(池田ノ田)宴席ニテ席上演
舌余興アリ参列人百四五十名ヲ
算ス日没スルヤ活動写真アリ(後
略)

昭和五年十二月三十一日(前略)
回顧スレバ本年ハナツノ死亡二自
分ノ下須成大元神社の転任ニ夏季
病床ニ苦シム等頗ル不幸ノ年ナリ
シ(後略)

昭和六年二月十一日 今朝二時
二眼覚ムルモ悪寒アル気分勝レヌ
故服薬シテ臥床ニ入ル(後略)
この頃から在宅静養の記事頻繁
となり、五月四日で自筆の日記は
終り、六月二十日没した。六十四
歳。五十年間、こまかく丹念につ
づられた日記は、私の胸の中に深
く刻みこまれている。

頌徳碑

一宮長房翁

金山法主諱真之書

とあり、裏面には金山出石寺法
嗣諱鏐の碑文と昭和四年春、そ
して発起人太石藤衛、河田卓一

(長浜町文化財保護審議会委員・
久保七郎)

表彰・歳時記

表彰***

佐々木計和さん

建設業の育成発展



豊茂の佐々木計和さん(六七)写真。建設業団体役員として業界

の育成発展に功績があったことにより、二月二十日の愛媛県政発足記念日に白石春樹愛媛県知事から表彰されました。

吉岡さんら49人

13団体

第18回社会福祉大会

三月二十八日、町体育館で第十八回長浜町社会福祉大会が開かれ、次の方々に長浜町長および長浜町社会福祉協議会長から表彰、感謝状が贈られました。

長浜町長表彰

【社会福祉功労】

▽区長多年(十年以上)勤続 吉岡重則、豊島勝、金沢栄次、島田梅次郎(以上長浜) 木之本安正(沖浦) 有友忠憲(櫛生) ▼愛護班育成指導 下田章(下須戒) ▼老人クラブ会長多年勤続 熊野章(白滝) 【第27回健康優良老人】 矢野元ヒメコ(黒田) 亀岡トメ(下須戒) 米岡喜一郎(豊茂)

長浜町長感謝状

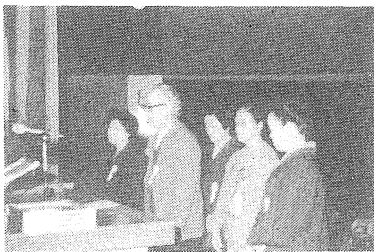
【献血運動功労】▽三十回以上 稲田宏(下須戒) 大本昭裕(豊茂) 久井一(大越) 亀田稔(大洲市)

町社協会長表彰

【社会福祉功労】▽里親受入れ(五年以上) 加納ミツ子(須沢) 藤井ミサヲ、山口ミツ子(以上出海) 菊地三佐子、宇都宮恵美子、佐々木沢子、大本定子、丸又トシエ(以上豊茂) ▼地域・学校の清掃活動 朝日大平(長浜小) 石堂直記、寺尾務(以上戒川小) 田淵るみ(長浜中) ▼校外奉仕活動 喜多灘小児童会・代表東達也、大野正行(白滝小) ▼児童会活動 松本かおり(出海小) 中嶋光秀(柴小) ▼子供会のリーダー活動 岡田英夫(柴小) ▼明るい家庭づくり 山田奈枝(長浜中)

町社協会長感謝状

【社会福祉事業寄付功労】 飛土住子、谷田貞俊、橘オレンジ杯カラ



福祉功労で表彰される人たち

オケ代表増田保二、中川フユ、清水寿美男(以上長浜) 池田元、小川純一(以上黒田) 畑山伊佐夫、畑山博志(以上出海) 池田冨子(上老松) 上満治雄、久保博道、菊地伸子(以上白滝) 柴小各地区子供会、武智繁夫(松山市)

町長・社協会長感謝状

▽民生児童委員六年以上 田淵音治(長浜)

愛媛県共同募金会

長浜分会長感謝状

▽歳末助け合い募金運動 長浜町文化協会、瑞林寺梅花講

愛媛県共同募金会

名誉会長感謝状

▽個人の部 岸本准一郎、兵頭信男(以上長浜) ▼団体の部 長浜青果農業協同組合、昭和サボア株式会社、昭和電工労働組合、長浜婦人会、長浜化成株式会社、稲田木工株式会社、長浜幼稚園

各種免許試験実施は

「安全衛生

技術センター」で

四月からスタート

従来、愛媛労働基準局で実施してきた、各種免許試験は、昭和六十一年度から「中国四国安全衛生技術センター」で実施することに

歳時記

▲ 歳時記 ▼
くんぷうー青葉若葉をそよがせて吹いて来る初夏のさわやかな南風です。同じような言葉に、青風というのがあります。このほうがやや強い風のような印象です。

最近、森林浴が人気を集めています。木から発散される、フィトンチッドという物質が、健康に良いそうです。とくに新緑のころはこのフィトンチッドが多いといわれています。薫風がさわやかさを感じさせるのは、このフィトンチッドも関係があるのかもしれない。

薫風

るのも楽しいものですが、都会にも、もって薫風を呼びこみたいものです。たとえば、身近な緑化のひとつとして、ブロッケン塀の生垣化などは、見た目に美しいだけでなく、さわやかな薫風を家の中にとりこむことができます。

さて、風薫る五月の行事のひとつに、児童福祉週間があります。五月五日の「子どもの日」から一週間です。この週間が発足したのは昭和二十二年ですが、食糧不足に悩まされていたその当時に比べると、今日の児童はまことに恵まれています。ところが、最近はいじめ問題や、受験戦争などあらたな問題が児童を悩ませています。この週間を機会に、もういちど真の児童福祉とは何かについて、みんなで考えたいものです。(ちなみに児童とは十八歳未満をいいます。)

なりました。
受験申請
①受験申請用紙は「中国・四国安全衛生技術センター」「愛媛労働基準協会連合会」及び「各地区労働基準協会」にあります。
②受験申請書は、当該試験日の二か月前から十五日前(センター窓口)に持参の場合は、試験日の二日前まで)の期間、センターで受付けます。
③試験手数料は(ア)所定用紙による銀行振込み(イ)定額小為替、郵便小

為替の郵送(ウ)センター窓口現金持参のいずれかの方法で振込んでください。
④受験票は、試験日の十日前に郵送します。センター窓口受付の場合は、受付時に交付します。

試験場所

中国四国安全衛生技術センター 広島県福山市新涯町字唐樋ヲ四一 電話0849-5414661

なお、詳しいことは八幡浜労働基準監督署又は愛媛労働基準局へお問い合わせください。

寄付採納

- 長浜の戸田侃志さん：スリッパ整理戸棚を柴小学校へ。
- 大洲市の光井信夫さん：楽器用アンプ一台を柴小学校へ。
- 柴小学校PTA：トランペット、アルトホーン、トロンボーン、指揮者服一揃を柴小学校へ。
- 喜多郡教科書販売有限公司：ボンゴ、コンガを柴小学校へ。
- 柴小学校教育振興会：ビデオセットほか二十点を柴小学校へ。
- 喜多灘小学校教育振興会：ビデオカメラ一台を喜多灘小学校へ。
- 喜多灘小学校PTA：ビデオカメラ付属品一式を喜多灘小へ。
- 白滝保育所母の会：テレビ一台を白滝保育所へ。
- 長浜保育所六十年卒園児、母の会一同：子供用ベッドを長浜保育所へ。
- 大洲市の宇都宮由美子さん：東芝扇風機二台を沖浦保育所へ。
- 沖浦保育所昭和六十年卒園児保護者一同：エイトブロック三セットを沖浦保育所へ。



鯉のぼりここにも日本男子あり、青葉若葉、鯉の滝のぼり、自然の活性化が最もたけなわの季節となった▲その鯉を20年余り飼って見て面白いことに気がついた。鯉の滝のぼりというくらいだからパチパチと水面から踊り上がるのは最も元気な奴だと思っていたのにさにあらず、はね上がるのは病気や虫がついて身体のやましさに耐え切れずもがき回ることが一つ。▲大きなのと小さいのを一緒に入れておくと小さいのは大きいのに食われてしまうが、チョロチョロとすばしこく逃げ回って生き延びた奴はすごく成長力があって2年、3年もすると10年以上の親分連中をしのぐほどになり、餌でも一番早く多く食うようになる。そしてもう一つ、20年近く成長しきった大ボスは最近どうも老人ボケになって口だけは大きくあけてパクパクやっているが餌はたまにしか口に入らないようだ▲そして更にもう一つ、これら餌をやって飼っている錦鯉は見掛けは豪華華麗なくせに食って見ると味も素気もないまことに頂けぬ代物である。以上四点、人生に当てはまるところがある。各自で納得できるような理由づけをして見てください。



結婚

3月長浜町役場届出分(敬称略)



3月のトップは
菊地博幸・礼子さんのカップル

住 所 氏 名 婚姻届届出年齢
今 坊茂 津田 礼子 (二四)

鯉のぼりによる
感電事故を防ごう

鯉のぼりの笠が電線にさわったり、倒れかかって感電事故をおこすことがあります。鯉のぼりをたてる場合は、電線から十分離れたところでたてましょう。(四国電力)

○沖浦保育所母の会：東芝扇風機、電気温風ストープを沖浦保育所へ。

○豊茂の豊友会：演台を豊茂小学校へ。

お誕生おめでとう!!

3月届出分(敬称略)

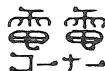
住 所 保護者氏名 続柄 児名
沖 浦 川元 傳 長女 恵美
長 浜 玉井 賢二 二女 真央
長 浜 坂東 敏幸 二女 美咲
下 須 戒 小林 吉安 二女 由華
出 海 宮田 幸喜 長男 大地
沖 浦 松本 信一 二女 伊代
今 坊 坂本 年秋 長女 彩

住 所 氏 名 死亡年齢
黒 田 池田 好夫 (七五)

柴 大洲市 太田 耕治 (二五)
戒 川 大野 幸子 (二三)
肱 川 東 武雄 (二六)
長 浜 榎尾 敏枝 (二三)
三 瓶 町 赤西 敬 (二七)
須 沢 田中 千広 (二五)
松 山 鷹尾 雅登 (二五)
小 田 松本 朋子 (二四)
長 浜 久保 一弘 (二三)
小 田 優子 (二三)

沖 浦 新江 石衛 (九一)
出 海 尾野 忠藏 (七六)
白 滝 平田 英子 (四六)
柴 谷口 トヨ (八八)
出 海 鈴木 光男 (五七)
櫛 生 澤井 シマ (八一)
出 海 池田 まさ子 (五四)
白 滝 清水 新藏 (九二)
長 浜 岩城 莊三 (八〇)
出 海 齊藤 ユリエ (七二)

電話の移転手続きはお早めに



引っ越し日が決まったら、お早めにご予約を。手続きは簡単、引っ越し先の住所、番地をお知らせください。長浜町内での移転工事日は、毎週火曜日、木曜日です。
N T T伊予長浜電報電話局116番

人口世帯数

人口をふやしましょう

	4月1日現在	前月との比較
人 口	12,123人 (男 5,711人 女 6,412人)	53人減 (37人減 16人減)
世帯数	3,844世帯	11世帯減

編集後記

青葉、若葉が美しい五月を迎えました。新入学生、新社会人となった人たちがそろそろ慣れてきたころでしょうか。学校に職場にさわやかな春風を吹かしていることでしょう。私たちの町にもすがすがしい新風を吹き込みたいものです。

さて、人生には人と人との出会いという素晴らしいドラマがあります。出会いを大切にすれば何ものにもかえがたい財産になると思います。

ところで一年間続けてきました一宮長房日記抄は今回で終わらせて頂き、来月から「続・まちの先覚者」を始めたいと思っています。広報係でもさわやかな春風を持っています。お気軽にお寄せください。(お)